

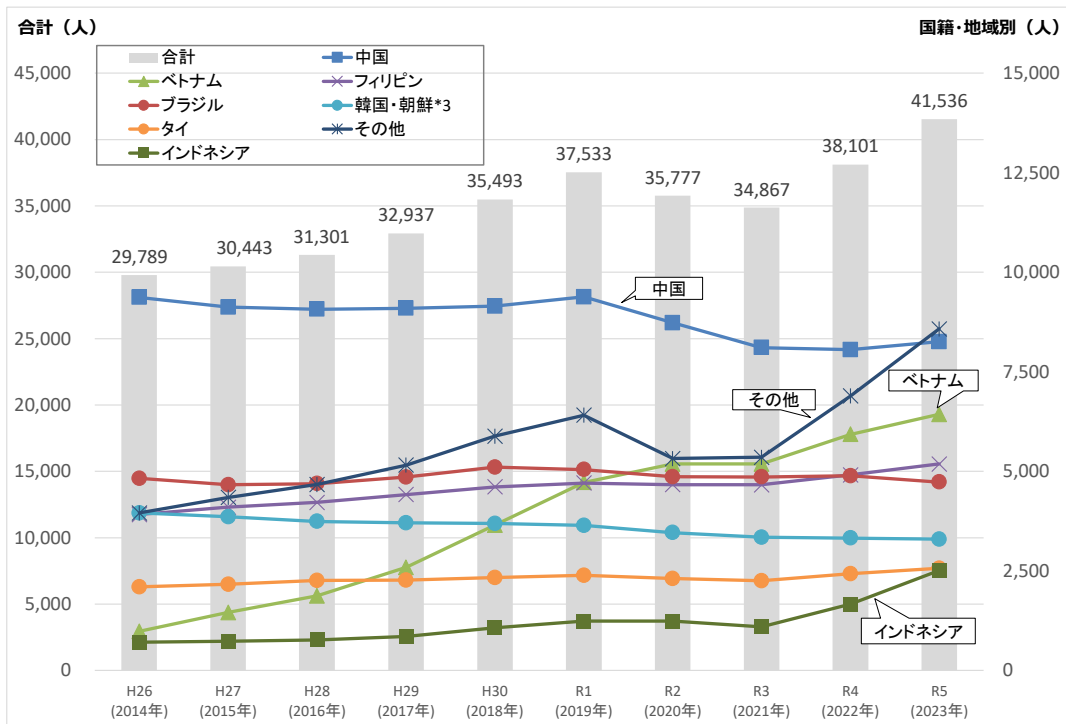
県内に在住する外国人の推移（毎年12月末現在）

長野県県民文化部多文化共生・パスポート室

○県内の外国人住民数は、41,536人と過去最高※1を記録した（対前年比3,435人（9.0%）の増加）。また、総人口に占める割合も2.05%と、初めて※12%を超えた。（前年度1.86%）

○国籍・地域別では、令和元年以降減少を続けていた中国が、2.5%の増加に転じた。ベトナムは8.4%の増加となっており、令和2年から4年連続で2位となっている。また、上位6か国籍・地域以外の、インドネシア（対前年比841人（50.4%）の増加）をはじめとする他の国籍・地域が近年急増しており、全体的な増加の要因になっていることが伺える。

○在留資格別では、永住者が最も多く13,803人（全体の33.2%）、続いて技能実習の6,102人（同14.7%）、定住者3,739人（同9.0%）、特定技能1号3,554人（同8.6%）の順となっている。前年度との比較では、特定技能1号が1つ順位をあげた。また、特定技能2号が制度開始以降初めて確認されるなど、就労目的での外国人が増加していることが伺える。



（単位：人）※2

区分	H26 (2014年)	H27 (2015年)	H28 (2016年)	H29 (2017年)	H30 (2018年)	R1 (2019年)	R2 (2020年)	R3 (2021年)	R4 (2022年)	R5 (2023年)	構成比
中国	9,368	9,124	9,072	9,096	9,150	9,379	8,730	8,109	8,054	8,256	19.88%
ベトナム	980	1,457	1,875	2,587	3,651	4,722	5,188	5,185	5,930	6,426	15.47%
フィリピン	3,911	4,101	4,221	4,419	4,612	4,708	4,667	4,664	4,914	5,181	12.47%
ブラジル	4,822	4,663	4,692	4,856	5,104	5,044	4,863	4,859	4,888	4,733	11.39%
韓国・朝鮮*3	3,953	3,857	3,742	3,705	3,690	3,640	3,460	3,346	3,326	3,296	7.94%
タイ	2,094	2,162	2,258	2,267	2,331	2,388	2,307	2,253	2,427	2,561	6.17%
インドネシア	705	735	769	851	1,070	1,239	1,238	1,096	1,669	2,510	6.04%
その他	3,956	4,344	4,672	5,156	5,885	6,413	5,324	5,355	6,893	8,573	20.64%
合計	29,789	30,443	31,301	32,937	35,493	37,533	35,777	34,867	38,101	41,536	100%

（参考）2023（R5）年6月末日現在 全国計 3,223,858人
（出入国在留管理庁：令和5年6月末現在における在留外国人数について）

※1 H24（2012年）7月に外国人の住民基本台帳制度が始まって以降

※2 当資料の数値は県多文化共生・パスポート室の集計であり、出国記録等によって調整された同行「在留外国人統計」の数値とは差が生じている。

※3 R2年度調査から、他表では、在留外国人統計（出入国在留管理庁）の区分と同様に、「韓国」、「朝鮮」を区別して計上しているが、本表では、過去の推移がわかりやすいように、両区分をあわせて「韓国・朝鮮」として、計上している。